

# 上中里・氷取沢地区 小規模校再編検討委員会ニュース

## 平成17年11月24日 第5回検討委員会開催

今回は、主に統合校の通学区域、中学校の通学区域、統合校の設置場所を議論しました。

このうち、統合校の通学区域、中学校の通学区域については、検討委員会としての結論がまとまりました。

次回は、今回、結論が出なかった統合校の設置場所について、引き続き検討していきます。



平成17年11月24日 上中里小において

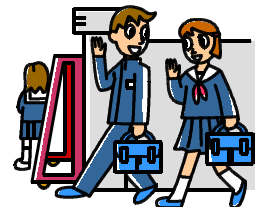
### 統合校の通学区域は、両校通学区域を合わせた区域

統合校の通学区域については、前回(第4回)の検討委員会において、「上中里小と氷取沢小は、同じ道路の延長線上にあることから、両校の通学区域を合わせた通学区域とすること」を基本に検討しました。

議論の中で、「大崎団地(以下「大崎」)から洋光台第二小への就学希望を聞いていただきたい。」というご意見があり、前回委員会後、大崎の住民の方の意向を確認していただいたところ、「上中里小への通学路が明るく、歩道が広いことなど通学安全面からも、そのような意向はない」ということでした。

これらのことから、統合校の通学区域は、現行の上中里小と氷取沢小の通学区域を合わせた区域とすることに検討委員会として決定しました。

中学校の通学区域は、  
現上中里小区域は浜中、現氷取沢小区域は富岡中  
～現氷取沢小区域に特別調整通学区域を設定し、浜中も選択可能に～



統合校に係る中学校の通学区域については、前回の検討委員会において、事務局から4つの案を提示しました。これについて、議論したところ、今までの経緯を踏まえ、現行の通学区域を継承しつつ、統合校の卒業生が同じ中学校にも進学できるよう氷取沢小区域を希望により浜中を選択できる特別調整通学区域を設定する案4が適当という結論になりました。

なお、上中里小区域に特別調整通学区域を設定することは、富岡中の保有教室数に余裕がないため困難です。

#### 中学校の通学区域案

	内 容	現小学校別進学可能校	
		上中里小	氷取沢小
案1	統合校の通学区域全体を浜中	浜 中	浜 中
案2	統合校の通学区域全体を浜中 現氷取沢小区域に富岡中も選択できる特別調整通学区域設定	浜 中	浜 中 富岡中
案3	現上中里小は浜中、現氷取沢小は富岡中(現行の通学区域と同じ)	浜 中	富岡中
案4	現上中里小は浜中、現氷取沢小は富岡中 現氷取沢小区域に浜中も選択できる特別調整通学区域設定	浜 中	富岡中 浜 中

進学可能校が2校ある場合(案2、案4)は、上段の学校が指定校(正規校)になります。

## 特別調整通学区域について...

特別調整通学区域内に住所がある場合、就学に際し、保護者は、指定校（正規校）のほか、教育長が指定した学校（受入校）のいずれかを選択できます。

### 通学区域についての主なご意見・ご質問

兄弟姉妹同じ中学校に通わせたい思いもあるし、幼稚園の関係も氷取沢地域は富岡地域とのつながりが強いので、案4が適当だと思う。

中学校の通学区域は現状どおりで、氷取沢小の基本は富岡中で、統合したときに友達関係などで浜中に行きたい子は選べるというのがいいのではないか。

案4だと上中里小は浜中にしか行けない。統合してせっかく氷取沢小の仲がいい友達できても、その子が富岡中に行くことになって上中里小からは富岡中に行けない。

上中里小から富岡中に行きたいという場合、それを救ってあげる手段は作ってあげた方がいいのではないか。

### 上中里小から富岡中への進学について

上中里小からも富岡中を選択できるようにすると保有教室をオーバーしてしまうおそれがあるので認められません。ただし、指定校以外の学校に通う制度として「指定地区外就学許可制度」があり、一定の要件に該当し、校長の許可が得られれば進学を認められるケースはあります。（事務局）

「指定地区外就学許可制度」の概要は、横浜市教育委員会ホームページをご覧ください。

### 富岡中校長のコメント

中学校にとっては、出身小学校が多く、また帰国子女や他の県から来るなど様々な文化・社会から生徒が集まった方が社会が広くなり豊かな中学校生活が送れると確信している。富岡中としては、統合校から何割かの子どもが来ることができるシステムがあった方がいいと思うが、現在、施設面で保有教室が目一杯の状態であり、指定地区外就学も多いので、無制限に受け入れることは厳しい。

---

## 統合校の設置場所は、引き続き検討

---

統合校の設置場所を検討するに当たり、「子どもや保護者の方々の不安や心配について整理した上で議論することが必要」との考えから、以前PTAが実施したアンケートで寄せられた統合に当たっての不安・心配について、事務局及び校長から説明した後、具体的な議論に入りました。

また、設置場所を決めるに当たり、その決め方についてもいろいろな意見が出されました。代表的な意見は次のとおりで、次回の検討委員会では決め方を含め、引き続き検討していきます。

### 設置場所の決め方についての代表的なご意見（要旨） .....

- ・ 両校の関係者は、それぞれ自分の学校を残したいという思いがある。これ以上議論しても平行線で、なかなか結論がでないので、教育委員会に一任するというのはどうか。
- ・ 子どもを持っているPTA等で決められれば一番いいが、それは難しいということで地域の方々も集まり、また、他地区から第三者的な立場で正副委員長も来てもらって議論している。それをこの検討委員会で決めないで教育委員会に一任するというのはどうかと思う。
- ・ 感情論でいけば平行線になり、この検討委員会で議論した意味がない。客観的な資料に基づいて検討した結果であれば所属団体に納得してもらえるのではないか。
- ・ 数字も大切だが、数字に表れないことも含め、総合的に判断しなければならないと思う。

### 統合校の設置場所についての主なご意見・ご質問 （回答は事務局）

設置場所を氷取沢小にすると通学時間は大崎から32分で遠いと思うので上中里小の方がいい。上中里小は校舎の耐震性や改修の問題等あるかもしれないが、必ずいい形で改修してくれるものと期待している。

地域や保護者は、上中里小を慣れ親しんだ「地域の学校」ととらえている。大多数の住民は、そのような感情を持っているため、組織の代表としては、無視できない。

教室の数などいろいろなデータをみると上中里小になると思う。氷取沢小のいいところを取り入れてくれればいいと思う。

地図を見ると、上中里小の方が真ん中にあるという感じを受ける。

小学生にとっても校庭が広い方がいいと思う。校舎の耐震性については、問題がある状態では子どもを受け入れるわけがないので予算をつけて整備してくれると思う。

氷取沢小は奥まっている場所にあるのに対し、上中里小は3方が道路に囲まれており、外部から目が届く場所にある。いろいろな人の目が届いた方が子どもにとって安全な気がする。

氷取沢小は基本的に校門が一つなので侵入者に対して対応しやすいとのことだが、正面の方で何かあって、いざ避難することとなったときには校庭脇の階段だけでは不安だと思う。そのような面では、上中里小の方がいいと思う。また、大崎からの通学時間についても、32分というのは幼稚園の卒園間もない子どもが通うには遠いと思う。

氷取沢小の校舎はモダンで、他の学校にない自由な発想でできており、これからの子どもたちが勉強するにはとてもいいと思う。ただ、3方が囲まれていることと入口が基本的に一つしかないのは気になる。

氷取沢小が3方が囲まれていることについて、保護者としては、侵入者の方が心配。上中里小はどこからでも入れる。周囲の目が届くということは、侵入者に対して弱いのではないか。

上中里小は、侵入者に対して弱いという自覚があるので地域の協力で学援隊( )をお願いしているのではないかと感じた。

学援隊：保護者・地域住民による学校の安全管理活動をサポートするボランティア団体の活動

不審者対応訓練も他の学校より1回多くしているのはそういう面もある。いずれの学校も同じだが、学校というのは非常に弱いところだと思うので、地域の方の力を借りて防犯体制をとっている。年度当初は心配していたが、学援隊を取り入れたこともあり、現在のところ問題は起こっていない。危機管理体制は「これで十分」ということはないので、さらに危機管理意識を高める。(校長)

学校というのは基本的にどこからでも入れる。氷取沢小が地形の関係で特異な環境にある。学校の設置は性善説に立っているが、性悪説に立たないとセキュリティが守れない。例えば、鉄条網で囲まれた学校にガードマンが幾重にも立っていて、その都度、ボディチェックをするような環境が果たして子どもを育てる環境になるか。理想と現実のギャップは何とか大人が変えていかなければならない。

---

## P T A アンケートのうち統合に伴う不安・心配についてのご意見・ご要望 紙面の都合上、要約して掲載しています。

---

- ・ 通学距離が長くなるので不安に思う。特に下校時は、時間にバラつきがあるので、一人で帰ることがあった時は不安が増す。

登下校は、学援隊のサポートがあります。下校は2人以上で帰るように指導の徹底を図っています。はまっ子ふれあいスクールと学童保育も連携し、安全確保のために同一歩調で歩んでいます。また、警察においても周辺のパトロールをよくやっていただいています。(校長)
- ・ 現在行っている中学校との交流は統合後も引き続きやってもらえるのか。

現在、氷取沢小で行っている富岡中との交流(体育祭・文化祭への参加等)については、統合後も変わらないというのが原則で、さらに浜中との交流も増えていくことが想定されます。(校長)
- ・ 統合場所は、昼間のほとんどの時間を過ごす校舎の安全性、耐震性を一番に選んでほしい。

氷取沢小の校舎は耐震診断の結果不要で、体育館は実施済みです。上中里小は、校舎のA棟、体育館は実施済みで、B棟は未実施ですが、耐震診断の結果、必要であれば補強工事を実施します。
- ・ 統合後、新たな金銭負担(学校指定の体操着など)が発生しないように配慮してほしい。

学用品、体操着等、これまでどおりで変更は考えていません。(校長)
- ・ 仮に上中里小に通うことになった場合、低学年には通学の距離が遠すぎるように思う。

どちらの小学校を使うにせよ通学場所が変わるお子さんは、現状より距離が遠くなるのは否定できません。氷取沢小区域で上中里小に通う場合の最も通学時間の長い箇所が23分です。横浜市の小学校の通学時間別割合は、21~30分が最も多く52%、11~20分が33%、31~40分が12%となっており、他地区と比較して極端に遠いというわけではありません。(事務局)
- ・ 統合後の子どもたちのケアを十分に行ってほしい。そのために、統合時の学級編制や先生方の顔ぶれがあまり変わらないように配慮してほしい。

教員の異動について、現段階では、固有名詞も含め、具体的なことは言えませんが、再編統合という特殊事情を考慮し、取り組んでいきたいと考えています。(事務局)

学級編制への配慮は、友人関係、保護者関係、特別支援の必要な子ども等十分に行います。(校長)

- ・ 統合後に問題（例えば不登校）が生じたとき、フォローする機関を設けてほしい。  
不登校対策は、学校カウンセラーの整備（現状月1～2回程度）特別支援教育の充実（相談室の設置）を考えています。（校長）
- ・ 下校後の行動範囲が広がるため、上中里周辺の公園や危険な場所など把握してないので心配。統合後1～2年間子どもが十分に慣れるような環境づくりや対策は具体的にあるのか知りたい。統合に当たって、子どもたちだけでなく保護者も、そして行事も徐々に一緒にしたらどうか。  
午後5時は音楽を流し、家路に着くようにしむけています。通学区域内の危険箇所は、安全マップの作成により対処していきます。次年度は新設に向けた交流事業・交流会など、子ども、保護者、職員等、あらゆる機会をとらえて進めていきたいと考えています。（校長）
- ・ 統合時における両校の特色ある行事等の存続について配慮してほしい。  
学校の特色については、両校の特色について協働的によりよいものになるよう、十分話し合います。また、保護者の願いを受け止め、地域の文化の中心として発展できる内容を組み入れていきます。残していく行事についても十分な検討により、精選していきます。（校長）

### 検討委員会に寄せられたご質問について

氷取沢小の保護者の方から委員を通して次のような質問がありました。

アスベストについては、どちらの学校も大丈夫か。

マスコミ等で取り上げられているアスベストは、吹付材（綿状のもの）でアスベストの含有率が非常に高いものです。横浜市のすべての学校については、夏休みにかけて調査し、調査の結果、上中里小と氷取沢小については、吹付石綿は一切使われていませんでした。また、住宅の屋根等の材料にもアスベストは一部含まれていますが、そのようなものは安定しているので飛散するおそれはなく、そういう意味では心配ありません。（まちづくり調整局）

氷取沢小では、自校炊飯をしているが、設置場所が上中里小になった場合でも同じようにできるか。

設備の話なので当然できないことはありません。統合したら現在氷取沢小で使っている釜で対応できます。両校のいいところを統合のメリットとして導入していけば良いと思います。（校長）

上中里小のB棟の耐震診断結果はいつ出るのか。

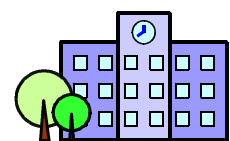
現在、コンクリートのコアを抜いた段階で、これから構造計算をかけて耐震診断をしていきます。耐震補強が必要かどうか、また、必要な場合はどの程度行えば良いか年明け早々には結論がでると思います。（まちづくり調整局）

改修費用が必要な場合、両校の見積りを立ててもらわないと本当にできるか分からない。

改修工事の費用について、統合に伴う必要な改修と経年劣化・老朽化による必要な改修（計画修繕）と2つ要素がありますが、予算的には両方確保しております。（事務局）

### 次回検討委員会の日程

平成17年12月11日（日）午後2時から氷取沢小学校で開催予定



### ホームページのご案内

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

小規模校再編検討委員会へのご意見は、EメールかFAXで事務局にお送りください。ご意見は、検討委員会のなかで報告・検討させていただいております。

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会事務局

横浜市教育委員会事務局学校計画課 Eメール：[ky-isogo@city.yokohama.jp](mailto:ky-isogo@city.yokohama.jp)

FAX：045-651-1417 電話：045-671-3252